

中東情勢緊迫化に伴うナフサ由来製品の安定供給及び価格
高騰対策を求める意見書

現在、中東情勢の悪化及びホルムズ海峡の航行制限等の影響により、プラスチックや化学製品等の基盤原料となる「ナフサ」の供給不安及び価格高騰が深刻化している。

政府は、代替調達の確保をアナウンスしているものの、川下の実需現場においては、食品包装容器、日用品、住宅建築資材（断熱材・塗料）、医療資器材等の深刻な調達難や価格高騰に直面しており、中小企業等の経営や市民生活（自治体指定ごみ袋の不足等）に多大な支障をきたしている。

よって、福生市議会は、政府に対し、国民生活及び地域経済の崩壊を防ぐため、次の事項について、迅速かつ万全な措置を講じるよう強く求める。

- 1 中東以外からの代替調達ルートの早期確立と、国内備蓄・供給量の「見える化」の推進
- 2 川下の中小企業等が直面する原材料コスト上昇分への補助・支援制度の創設
- 3 流通段階での過剰発注や買いだめ（目詰まり）を抑制するための、正確な需給情報の開示と指導

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年6月19日

福生市議会議長

佐藤弘治

内閣総理大臣

財務大臣様

経済産業大臣